

第3回
ハワイ大学研修訪問団に参加して
報告レポート

2012年3月4日（日）～3月29日（木）



兵庫県立大学国際交流センター

第3回ハワイ大学研修訪問団概要

1. 趣旨・目的

ハワイ大学マノア校（オアフ島）へ研修訪問団を派遣し、ハワイ大学の学生・教員との交流、授業参加、専門学科訪問、英語研修プログラムの受講、ホームステイでの生活を通して、両大学間の国際交流を推進すると共に、国際感覚と理解を深め、さらに日米友好親善に貢献することを目的とする。

2. 訪問日程 2012年3月4日（日）～3月29日（木）

3. 参加者数 20名（経済6、経営3、理学1、環境人間10名の各学部生）

4. 活動内容

- (1) 英語研修 ・ハワイ大学マノア校が提供する英語研修プログラム
（※英語研修修了者には、ハワイ大学マノア校から修了証書、成績書を授与。）
- (2) 課外活動 ・各学部・学科のニーズにあった施設及び授業見学
・ハワイの文化と社会の体験学習
- (3) その他 ・本学から随行教員2名（往路・復路各1名、1週間程度）
が参加する。

5. 訪問スケジュール概略

- 3月 4日（日） 関西国際空港集合、同空路より出国。
同日ハワイ・ホノルル空港到着
各自ホームステイ先へ宿泊
- 3月 5日（月） 予備日（現地交通等の把握、プログラム受講準備等）
- 3月 6日（火）～3月22日（木）
 - ・アウトリーチカレッジでの約3週間の英語研修（午後3時間）
 - ・教育研究施設の見学、授業参加
 - ・ハワイ大学学生との交流会
 - ・オアフ島内の文化施設等の見学
- 3月23日（金）ハワイ大学から英語研修修了証書・成績評価書の受領
- 3月24日（土）～26日（月）自由行動日
- 3月27日（火）帰国準備
- 3月28日（水）午前、ホノルル空港より出国
- 3月29日（木）関西国際空港着、解散

6. 研修費用 380,000円

〔費用に含まれるもの〕

往復航空運賃、海外旅行傷害保険、滞在費（ホームステイ24泊、食事（朝・夕食付）、英語研修授業料、現地での移動に伴う交通費、交流会費

今回の研修は私にとって初めての海外でした。まったく不安が無かったといえば嘘になります。ただその不安はハワイに着いてからすぐに消えました。それだけ全てが刺激的でした。

この3週間は多くのきっかけを私に与えてくれました。特に3つのきっかけ、英語にもっと触れてみたいと思うきっかけ、心の持ち方・考え方を変えてみようと思ったきっかけ、日ごろの生活に感謝するきっかけ、が印象に残っています。

聞こえてくる言葉も、自分が頑張っている言葉も、すべてが英語という環境は、日ごろ使っていない頭をフル稼働するには最適でした。色んな人と積極的にコミュニケーションをとるのは、とても楽しかったです。ただ悔しい思いもたくさんしました。もっと会話したいのに、自分の思いをうまく言葉にできない、相手が言っていることが分からない。ただどんなにそれが悔しい思い出であっても、ハワイで経験したことは全てが私にとって大切であり重要なものです。そう考えられるようになったのは、これからにとってとてもプラスになると感じています。なにより日本に帰ってから、思い立ったらすぐ行動するようになったと思います。これはコミュニケーションをとっていかうとした結果なのかはわかりませんが、今回の研修によって変わった部分であることは間違いありません。

よく海外に行くと日本の良さが分かると言います。私はハワイ大学で行われたインターナショナルナイトというイベントでそれを実感しました。そこでは多くの国の伝統文化が紹介されており、音楽やダンスを披露するステージも行われました。そのなかで日本は四季をテーマにしたマジックショーを披露していました。もちろん他の国も素晴らしかったです。日本の四季の美しさ、桜など儂く散るものに美徳を感じる精神は他の文化にはない素晴らしい部分であると感じました。他にも客観的に日本人というものが、短い期間ではあるものの見られた気がします。そこから今まで以上にもっと日本を誇りに思い、もっと自分の国について勉強しなければいけないと思いました。

ホームステイもとても良い経験でした。今まで私は一人暮らしの経験が無く家事もほとんど経験がありませんでした。しかし今回掃除、洗濯、食器洗いなど協力しながらではありますが、一通りこなすことで、いままで分からなかった親のありがたみを感じることができました。ホストの方々も本当によくしていただいてとても感謝しています。

今回の研修で感じる事ができたきっかけは私にとってかけがえのないものであると確信しています。これからもハワイの方々との空気感、向こうで感じてきた様々な思いを忘れることなく、それを実践していける、続けていけるように努力していきたいと思えます。本当に参加できてよかったです。ありがとうございました。

経済学部 男子

私にとってこの研修プログラムの3週間は、毎日が楽しさと驚きの連続でした。今思い起こしても、本当に内容の濃い素晴らしい3週間で過ごせたと思います。

美しい景色を見れたことやハワイの文化を学べたこと、すべてがよい経験だった中で、私は何よりハワイ大学という大学に通って新しい友達や素晴らしい先生方に出会えたことが一番いい経験になったのではないかと思います。担任のMarliaやインターチェンジの学生、そして授業の一環で突然道で話しかけて質問を投げかけても快く答えてくれた見知らぬ学生も、みんなとても優しく、私の話すことを理解しようとしてくれました。もし自分で行く旅行だったとしたら私はきっと大学に足を踏み入れることもできなかっただろうし、これらの出会いのチャンスもなかったと思います。自分が学生である今だからこそ、このプログラムに参加して、たった3週間ではあるけれどハワイ大学の学生として学校に通えたことは、これからの私の人生の中で必ずプラスになると信じています。

また、ホストファミリーとの出会いも私にとって大きな刺激となりました。私たちのおじいさん、おばあさんの世代となるホストファーザーとホストマザーでしたが、どちらもとても元気いっぱい笑顔のあふれるご夫婦でした。ホストファーザーはマジックが得意で、毎晩私たちにマジックを見せてくれて、種明かしまでしてくれた時にはお互いでマジックを見せ合ったりしてとても楽しい時間を過ごしました。また、ホストファミリーはいつも私たちに『いろいろな場所に行っているいろいろなものを見て毎日を楽しみなさい』と言ってきていたので、家に帰ってその日に行った場所や見たことを話すととても喜んでくれたのがすごく嬉しかったです。最初は緊張と不安とでなかなか話せなかったけれど、日が経つにつれてだんだんとコミュニケーションがとれるようになっていって、パパのジョークに軽くツッコミをいれたりみんなであい合っている時間がとても嬉しかったです。楽しい時間を作ってくれたホストファミリーに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この3週間、すべてがスムーズにいったことばかりではありませんでした。バスを1時間以上待ったり、進む方向を間違えて道なき道を歩いたりもしました。でも、現地の見知らぬ人が助けてくれたことも何度もありました。たとえ日本語がわからなくても、困っている私たちを見て助けてあげようと思ってくれたことが本当に嬉しかったし、それが当然のようにふるまってくれるのを見てとても格好いいと思いました。だから私は、自分が逆の立場になった時に、相手が日本語の通じない相手だったとしても、もちろんそうでなくても、自分にできることがあるなら困っている人に話しかける勇気を持ちたいと思いました。うまくいったこともいかなかったことも、全てが自分にとって大切な思い出であり、いい経験だったと思います。この研修をきっかけに、新しいものを見たり知ったりする楽しさを知り、もっといろいろな場所へ行って自分の知らない景色や文化に触れてみたいという思いが強くなりました。私は、これからの人生をよりアクティブにしたいと思うと同時に、いつか必ずまたハワイに戻ってまた新しい発見ができたらいいなと思います。そして最後に、これからも繋がってほしいと思える人たちに出会えたこの研修に参加できて本当によかったと心から思います。

経済学部 女子

私がハワイ大学研修団に参加して感じたことは、英語を話す練習は「どこでも」「誰とでも」することができるということです。

この研修団に参加する前、私は英語で会話する相手は外国の人だけだと思っていました。正直、日本人だけの英語の授業やホームステイで英語に関する新しい発見ができるのかなと少し不安に思っていました。しかし、実際に3週間の英語研修とホームステイを通して、私はいろいろなことを学ぶことができました。同じ目的を持って集まった研修団のメンバーと一緒にいたため、私が知らない単語や文法は一つでも多く吸収してやろうというライバル心と、間違っても恥ずかしくないというリラックスした状況で英語を話す練習ができたと思います。授業の休み時間でも、昨日あったことや今日の午後の予定を英語で会話をすることで相手が日本人の友達でも英語の練習はできるんだなと感じました。

授業やホストファミリーとの会話以外にもバスの中、レストランの中、ワイキキの街を歩くだけでも、3週間毎日が私にとって新しい発見ばかりでした。たとえば、ワイキキの街に出た時、丸亀うどんや天下一品ラーメン、小僧寿しといった日本でも有名な飲食店がハワイの街に馴染んでいたこと、繁盛していたことに私はとてもびっくりしました。日本企業の努力と歴史に興味をもちました。

また、ハワイに行って「時間の流れ」について考えるようになりました。今までは学校とアルバイトで、一日一日を過ごしていくことで精一杯でしたが、あのゆっくりと流れるハワイアンタイムの中で改めて自分自身と向き合えることができたように思います。どこまでも続くハワイのきれいな海を見ながら、ダイヤモンドヘッドの頂上から朝日が昇るのを待っていた時間など、いろいろな時間の中で、ふと今の自分について考えることができました。そして将来どのような自分になりたいか見つめなおすこともできました。日本に帰国してからも忙しい時間の中で、立ち止まって考えることも必要だと感じ、自分の生活にゆとりがもてるようになりました。

さらに、授業の中やホストファミリーとの会話の中で、「自分の個性」についても考えるようになりました。インターチェンジで自分の長所と短所について問われた時や、Dr. J の授業に参加して自分の個性を順番に発表して行く時、私はすぐに答えることができなかつたのですが、同じ世代のアメリカの学生たちはみんなそれぞれ自分の個性や考え方を持って発言していたことに、彼らの自分を分析している力に私はとても衝撃を受けました。

今回ハワイ大学研修に応募したきっかけは、「生きた英語とハワイの文化を学ぶこと」でした。毎晩、ヘトヘトになりいつ寝たのか記憶がなくなるくらい五感をフル活用してハワイの文化と英語を吸収することができ、さらにもっと英語を勉強したいと決心しました。

経済学部 女子

私はこの約3週間のホームステイでいろいろなことを学ぶことができました。

まず、もちろん英語を学びました。大学では、テキストは配られていましたが、あまり使うことはなく、ほとんどが英語での会話やゲームでした。その内容は、自分について話したり、指定されたお題について話したり、体を動かすゲーム、すごろくなど単純なものでした。しかし、自分が伝えたいことを英語で表現することは想像以上に大変であると気づかされました。インターチェンジの生徒たちとの会話は同世代でもあり、とても楽しく、いろいろなことを聞くことができました。また、ホストファミリーとの会話は本当に勉強になりました。会話をする際に分からない単語や言葉が多くありましたが、ホストファミリーは意味を英語で教えてくれたり、ずっと待っていてくれたりととても親切に会話をしてくれました。彼らは私が英語で間違った表現をすると訂正もしてくれました。また、街やお店での現地の人との会話もより実践的なもので勉強になりました。

次に、ハワイについて学びました。ハワイの国旗の意味、ハワイの歴史、ハワイの言語、ハワイの食べ物、フラなどたくさん学びました。私はハワイに行く前まで、ハワイについて何も知らなくて、ハワイの歴史に特に興味はなかったのですが、実際にいろいろな人に話を聞いていくと、歴史の中で日本と関係をもつハワイ、日本とは全く違う環境でできたハワイなどハワイの歴史や文化に興味を持つことができました。

そして、ハワイでいろいろな人と会話していく中で、文化の違いを実際を感じる事ができました。靴を履いたまま家に入ったり、食事の文化が違ったりということはもちろんですが、私が一番感じたのはスピリットの違いです。私のホストファミリーは食事の前に必ずお祈りをします。最初は戸惑いましたが、食物への感謝や家族の健康・安全だけでなく、私たちの健康・安全、ハワイで楽しい滞在が送れるようにと祈ってくれました。そして、私たちが「いただきます」や「ごちそうさま」と言っていると、それはどういう意味か、何にたいして祈っているのかを聞かれえしました。私はすぐに答えることができませんでした。また、インターチェンジの生徒と話しているとき、ハワイの歴史や文化について尋ねていると、彼らはハワイについてたくさん語ってくれたのに、逆に日本について聞かれた時、私は答えることができませんでした。同世代の人に日本の国旗の意味や日本の歴史、日本人は何を信仰しているのか、宗教について学校や両親から何を学んだのか聞かれた時、私は日本について何も知らないことを実感し、日本人との意識のギャップに驚きました。異文化に興味はありましたが、日本の文化についても改めて興味を持たされました。

ハワイで過ごした時間は私の人生の中でも素晴らしいものでした。

今後の人生の中でもプラスとなるように、この経験を生かしていろんなことに挑戦していきたいです。

経済学部 女子

私の今回の研修訪問団での目標は、一日一日充実した生活を送るということでした。流れていくままに時間を過ごしてしまうと 3 週間があつという間に過ぎてしまうと思っただからです。

ハワイ大学での授業はとても充実した時間でした。先生の Emily は私が理解できるように積極的に会話をしてくれましたし、授業だけでなくホームステイでの生活についてもいろいろアドバイスをしてくれました。今まで日本でいくつかの英語での授業を受けてきましたが、私はいつも自分から発言することができませんでした。でもこの授業は今までも一番楽しく一番英語を使うことのできたものであったと思います。また授業の中での Interchange の授業では現地に住んでいるハワイ大学の学生さんと各々の文化や環境について、またハワイ大学について会話をすることができました。実際に話す時間は短かったですが、とても有意義な時間でした。

この研修訪問団に参加して「自分が日本人であること」について考える機会がたくさんありました。これは日本でふつうに生活しては気づかなかったことだと思います。まず Interchange の学生の多くが日本語を学んでいることにとても興味を持ちました。みんな日本食や日本のテレビドラマが好きで日本についてとても詳しくかったです。日本が好きで日本語を学んでいる人たちを見て、自分が日本人であることに誇りを持ちました。

またホストファミリーはとても親日家で、毎晩日本のテレビドラマやコメディを見るのが日課だと言っていました。英語の字幕で日本のテレビをみているホストファザーを見てとてもうれしく思ったし、旅番組などで「ここ行ったことある？」などと会話することができてとても楽しい時間でした。また、ホストブラザーが通っている日本語学校に連れて行ってもらった時は、中学生くらいの子が日本語の教科書を音読していて漢字も読めていたことに衝撃を受けました。日本人が英語を学ぶのと比較したら凄いことだと思ったからです。そしてこのように日本語を学んでくれる人たちがいるから、国境を越えて交流することができるし平和を保つことができるのだと思いました。そのことを自分に置き換えてみたとき、私はもっと英語を勉強して世の役に立てる人にならないといけないなと思いました。

この研修訪問団は私にとって一生忘れることのできないものになったと思います。もっと英語を勉強しないといけないと思ったし、他国の人々と英語で話すことの楽しさを身をもって感じることができました。ホストファミリー、ハワイ大学の先生、生徒、一緒に行った県大の学生、ハワイで出会ったすべての人に感謝したいと思います！
本当にありがとうございました！ MAHALO！

経済学部 女子

ハワイで留学をしてみて学んだことは大きく2つありました。

1つ目にやはり人とのコミュニケーションは生活をしていくうえで大切であるということです。慣れない土地・慣れない英語でハワイに着いて始めはホストファミリーの人たちとも多くの会話を交わすことができなかったけど、ホストファザーに「日本人は投げかけられた質問に答えてそのまま会話が終ることが多いからもっと積極的に質問を投げ返さないといけないよ。」と教えられたことがありました。確かにハワイに来てみて授業のインターチェンジでハワイ大学の生徒の人たちと会話するときにはたくさんの質問を投げかけてくれたのでひたすら楽しく会話が続いていました。日本人とのコミュニケーション能力の違いを実感した授業でした。質問をされ、またそれを投げ返すことで異文化であってもお互いの考え・意見が伝わり、距離が縮まるのが早くなるのだと気づくことができました。

2つ目にハワイの人たちの心の温かさです。ハワイに来て日本と全く違うと感じました。道路で車側の信号が青であるにも関わらず横断歩道で待つ歩行者を見つけると車を止め、歩行者を優先してくれたり、道を尋ねると嫌な顔をせずみんな親切に笑顔で教えてくれました。ハワイの人の温かさに触れ、ハワイで約3週間居心地良く私も毎日笑顔で過ごすことができました。また、転んでケガをしてしまった時も顔も名前も知らない私を近くの家の人々が心配して応急手当をしてくれたり車で家まで送ってくれたりと本当にハワイの人たちの心の温かさには感動しました。そして日本に帰ったら私もハワイにいる人たちのように常に温かくて優しい心で誰にでも接したいなと思いました。

また、知識では日本とは違った文化・生活があると知っていても、やっぱり実際に海外に出て自分自身の目で異文化を見て、体験するのとは大きく違うなと感じました。食生活、時間の流れ方など日本と違うところが意外と多くて驚くことも多かったけど、日本では味わえない生活が送れていい体験になったと思います。この留学を通して外国の人と接する、交流する楽しさが分かったので時間がある学生の中に他の興味がある国にも積極的に訪れておきたいなと思いました。

経済学部 女子

今回のプログラムに参加して僕は本当によかったです。クラスのみんなやホストファミリーの Neal と Keiko、UHで教えてくれた Marla と Emily、出会ったすべての人に感謝しています。今後、一生の付き合いになるような友達や家族ができたと思っています。3週間と短い間でしたが、みんなと過ごした時間はかけがえのないものでした。特に兵庫県立大学のいろんな学部の人と長期間一緒になって活動するのは、これ以外にはないのではないかと思います。このプログラムに参加していなければ、ほかのキャンパスと関わることもなく4年間を終えていたような気がします。

今回のプログラムでいろんなことに挑戦しました。楽しいこともいっぱいでした。みんなと英語で一日中会話したり、海に行ったり、ピクニックしたりしたこともありました。チップ制やレディーファーストの文化には戸惑いましたが、世界の文化を知ることができて視野が広がりました。日本での文化を考えるきっかけにもなりました。

ハワイということで、文字が日本語で書いてあることもあり、安心して過ごすことができました。もちろん、ハワイでは英語を話せないと過ごせません。ハワイの人は日本語を話せるイメージが強かったのですが、出会った人は話せない人がほとんどでした。日本語から英語に入り込みやすいのでハワイは初めて留学する場所に最適の場所だと思います。語学にハワイはあまり考えたこともなかったのですが、実際に参加して素晴らしいと思いました。

今回のプログラムを通じて得たものは、参加する前に想像していたもの以上のものでした。英語に関していうと、英語の語彙や聴く能力以外にも発音や思ったことを英語で話す能力が得られたように思います。会話をするときの英語を覚えるというより、英語を作るといった感覚が自然と身についたように思います。同時に、英語を話すことへの抵抗がなくなりました。英語以外でも日々の生活でチャレンジしないといけない場面が多くて、積極性やコミュニケーション能力、客観的な考え方など性格にかかわる面で想像していなかったものまで得られました。日本に帰ってきて、性格が変わったなどよく言われるようになりました。

今回のプログラムで得たことを今後人生で生かしていきたいと思っています。これからも英語の勉強を続けて、いつか上手に話せるようになった頃にもう一度ホームステイ先に行きたいと思っています。少しでも多くの人がこのプログラムに参加して、同じような経験をしてもらいたいと思います。自分の想像を超える経験こそが自分を成長させてくれると、この3週間を通じて知りました。自分の想像を超えることがいっぱいの海外で3週間で過ごせたことにとっても感謝しています。本当に充実したプログラムでした。ありがとうございました。

経営学部 男子

私がハワイでの研修で楽しかったことのひとつに挙げられるのが、英語の授業でした。少人数のクラス構成で、先生との距離が近く、発言しやすい環境になっていました。座学だけでなく、教室を歩き回ってクラスメイトに英語で質問をしたり、大学のキャンパス内でハワイ大学の学生にインタビューをしたり、インターチェンジの学生と話したり、様々な形で人と英語で話すための機会が与えられました。初めは英語で話す事に恥ずかしさがありましたが、授業で話しているうちに、気付けば大学だけでなくホームステイ先やスーパー、レストラン、バス停などの日常生活の場でも現地の人々と英語で積極的に話すようになっていました。授業では、会話を途切れさせないためのセンテンスも学びました。日常会話の中で、共感や感嘆を伝えたいのに、相手の発言にどのように返事をすればいいのか迷う時があり、それを考えている一瞬で会話が途切れてしまうことがありました。それを授業が解消してくれました。自分の意見を言いつつなしにするのではなく、相手の意見に反応することで、会話がよりスムーズに流れるようになったと感じました。

また、ゲーム感覚で英語を勉強する事が多く、チーム対抗で競い合ったり、ペアを何度も代えながら課題をクリアしたりして、勉強という感覚はなく楽しく英語を話す事ができました。中でも、質問が書いてあるすぐろくはホームステイ先に持ち帰って家族と一緒に遊んだ時には、様々なトピックを提供してくれたので印象的に残っています。質問に答えていくうちに、お互いの事を知るようになりまし、普段とは違った会話をすることができました。

さらに、授業の最終日には、ハワイ大学の現地学生の授業見学にも行く事が出来ました。これは以前から個人的に先生に相談していて、先生がコーディネータの方とその友人を通して許可を取って下さいました。私は語学をどのように教えているのか興味があったので、日本語の授業を見学させていただきました。日本では中学から英語の授業が始まりますが、大学生になっても日常生活で満足に話せるレベルになる人は多くはいません。それは、授業が話すためのものではないからだ今回の研修で感じました。見学させていただいた日本語の授業では、座学に加えて、少人数の教室内でパートナーを代えて何度も話す練習をする時間が設けられていました。これは、私が今回受けてきたハワイ大学での英語の授業と似た状況でした。実際に多くの人と話すことで、舌で発音を覚え、リスニングの練習もでき、最終的には躊躇せずに話すことができると実感しました。現地の授業見学を通して、学習法の違いを知り、日本でも活かしていきたいと思いました。

最後に、ハワイで生活して、私は日本にいた時よりも活発で勇敢で積極的で社交的になれたと思います。現地の人々の雰囲気や大学での授業がそうさせてくれたのだと思いますが、自分の殻に閉じこもらずにもっと外へ出ていこうとする気持ちは日本に帰っても持ち続けていたいと考えていました。そして今、日本での生活に戻って、以前と同じ環境では物足りなくなっていました。もっと積極的に行動できるのではないかと何事に於いても自分を奮い立たせ、行動するようになりました。行動の幅が広がり、様々なことへの関心が強くなったように感じます。ハワイでの興味深く貴重な経験をこれからの人生に役立てていきます。

経営学部 女子

私にとって大学生の間に海外に行き、現地の生活を体験し交流関係を増やすことはひとつの目標だった。今回ハワイ大学研修訪問団に参加し、この目標を達成することができたと感じている。私は3週間の滞在期間中に大きく分けて3つのことが得られた。

まず、1つ目はハワイについての知識である。参加する以前は、ハワイと言えば有名な観光地だということぐらいしか知らなかった。しかし、参加してハワイ特有の単語やハワイの歴史、文化について学ぶことが出来た。授業の中に、ハワイ独自の内容が含まれており、自然と学ぶことが出来たように思う。また、フラダンスの体験授業があり、実際に体験することが出来た。課外活動では、ビショップミュージアムに行き、原住民や移民について、火山、生物などの自然について、様々な物を目で見て感じ学ぶことが出来た。3週間の滞在期間中に、オアフ島のほとんどのエリアに行くことができ、現地の人々の日常を体験し、より深く学べたと感じた。

2つ目は、コミュニケーション力である。道に迷った時や質問がある時など、たとえ的確な単語が思いつかなくても、何とかしてボディランゲージや拙い英語で伝えることが大切だと学べた。また、今まで使っていた日本語の発音で伝わらなかったことが多かったので、相手に伝わることを心がけていくうちに、自然と発音も良くなっていったと感じた。英語だけの空間に行くことで、リスニング力もアップし、大部分は聞き取れるようになったように思う。黙っていたり、恥ずかしがっていると伝わらないので、積極的に何かをすることができるようになった。

3つ目は、多くの友だちが出来たことである。訪問団に参加した自分以外の19人の内、知っていたのは1人だけだった。だが、すぐにうち解け話したり、みんなで一緒に遊びに行ったりした。参加しなければ話すことがなかった違うキャンパスの人とも友達になり、つながりが出来たことは、大きな財産になると思う。またハワイ大学内の交流会やインターチェンジで出会った人々とは、今でもFacebook上でやりとりを続けている。たくさん話をしたい、知りたいと思うことで、英語を勉強していく上でのモチベーションとなっている。色々な場所で、それぞれの行き方をしている人を知ることで、以前より視野が広がったように感じる。

ハワイでの日々は、毎日新鮮なことの連続で、日本にいては感じることの出来なかったものばかりだった。費用の面や、時間のことで参加することを諦めかけたこともあったが、参加して本当に良かったと思える。また、もっとハワイ以外の国についても知りたい、もっと英語が話せるようになって、多くの人とつながりを作りたいと感じるようになった。今回学んだことを、これからの学生生活や人生に活かしていきたい。

経営学部 女子

私が今回短期留学で経験したこと、感じたこと、学んだことはたくさんあるのですが、それらを非常に簡潔にまとめて書きたいと思います。

まず、最初に現地の人々との交流について、これは留学で得た一番大きな収穫です。それは、バスの中であったり、(道を尋ねたり、尋ねられたり)、ホストファミリー、現地の大学のハワイ大学生、ハワイのレジャー施設、買い物、レストラン、車に乗せてくれた人等々。数え出したらきりがありません。ハワイには、いろいろな国から生まれた、さまざまな人種の方に、出会いました。皆共通して言えたことは笑いが大好きでした。人種が違えど、皆同じ人間で日本人と同じ感覚でした。あたり前のことかもしれませんが、すごくそのことを痛感しました。

しかし、同じ人間と言えども、お国が違えば、言語も異なり、文化も異なります。私はアメリカ(ハワイの文化)で多くのことを知りました。その中の1つのことを書きたいと思います。これは、ホストマザーに教えていただいたことなのですが、日本には、謙遜の文化がありますが、アメリカにはありません。私は、このことを知り驚かされました。事実、これを知らないために、「は？」という顔を2回ぐらいされました。また、異国に住んでいると、自国のことが見えてくるのは明らかでした。日本の良いところ、悪いところ、他を知れば、自が見えてくるというのは、まさにこのことなんだと実感しました。さらに、ハワイ大学で、国際交流のイベントがあり、さまざまな国のブース、それぞれの国の伝統文化のパフォーマンスがありました。どの国の伝統文化もそれぞれの個性がでていてすごく良かったです。日本は、沖縄と本州と二回出演していました。その中でも、本州出身の日本人のハワイ大学生が行ったパフォーマンスにすごく心を動かされました。その人は、バリバリの日本語英語で、日本のすばらしさである四季を伝えようと紙吹雪を使ったり、マジックを使ったりして、四季を表現していました。それを見て、すごく日本の良さを改めて実感させられました。四季があるというのは、日本の特徴であり、すばらしさであることをすごく日本の友達に伝えたくまりました。また、日本人が海外で活躍しているのを目の当たりにして、すごく励まされました。自分もぜひ、国際的な視野をもっともっと日本を盛り上げれるように頑張りたいと思いました。

この留学によって国際的な視野はもちろん、海外が近くなりました。境界線も薄くなりました。語学力ももちろん以前より身につきました。私の人生の良い経験であったことは間違いなく、かけがえのない財産になりました。この経験を今後の人生に活かすべく、さらに英語力に磨きをかけたいと思います。

理学部 男子

1 ハワイ研修の成果

私がこのハワイ研修で良くなった上達したと感じたのは、リスニング力です。今まで私は聞き取りが苦手で苦痛に感じていましたが、この三週間の特別プログラムを受けて確実に前のリスニングを苦手だと感じていた私が変わっていくのが分かりました。最初の一日目は、日常的なこともなかなか聞き取りにくくこのようなことで三週間もハワイで生活できるのだろうかと不安になっていましたが、最後の週にはそのようなこともなくすごく楽しく過ごせました。日常的に英語に囲まれて過ごす環境がよかったのだと思います。次に良くなったと感じたのは、コミュニケーションの取り方です。私は今まで英語で話すという授業を全く受けたことがなく、どうアプローチをすればいいのか全くわかっていませんでした。それを今回の授業では、英語に対する苦手意識を抱かないようにゲームのような感覚で授業が進められ、私でも構えることがなく自然と英語に馴染むことができました。発音など日本の授業では学んだことがないようなことを教えていただき、それをそくホームステイ先で実践できる環境だったので出来た時の達成感がすごく良く感じられました。難しいことではなかったもので、外国の方と話すときの気構えもなく、コミュニケーションの基礎を学びました。

2 ハワイと日本との差異

まず、ハワイの人の考え方がすごく違うなと感じました。時間の考え方が私にとっては一番それを表しているように思います。ハワイアンタイムといって日本のようにきっちり時間を守るといったことがないのもその一つですが、ハワイでは日本のように人がいそいでいないように感じました。だからなのか、エスカレーターでも日本のように右や左に並ぶことがないし、少し時間に遅れたことでは誰も文句を言いません。ハワイの人は大らかなのだと感じました。大らかなからこそほかの人のために親身になっていろいろなことをする余裕があるのではないかと感じます。

3 ハワイでの授業について

ハワイの大学は日本の大学とは違い、とても自由な雰囲気です。すごく過ごしやすかったです。前にものべたようにとても学びやすい環境やインターチェンジの学生、先生方の優しさが感じられとても楽しい大学生活でした。ハワイでの生活で何が一番楽しかったかと言われると私にとっては授業かもしれませぬ。それくらい楽しい授業でした。ハワイの文化についても教えていただき、国が違うだけでこんなにも文化が違うのかと感じました。

4 ハワイ研修を通して

今まで私が苦手としてきた積極性やコミュニケーション力を高めることができました。ハワイでは、いろいろコミュニケーションでの問題やすれ違いがどうしてもあって、それを解決するためには自分で積極的にならざるにとも挑戦しなくてはいけません。そのため今まで引込み思案ぎみだった私もいろんな経験をし、少しずつ変わってきたように感じます。もちろん仲間の存在もハワイで挫けそうになった私にとってとても大きな心の支えでした。よい仲間と巡り会えてことがこのハワイ研修での一番の嬉しいことです。

環境人間学部 女子

私は今まで海外に行ったことがなかったので、学生のうちに海外旅行、または語学留学を経験してみたいと思っていました。そのためハワイ大学交流研修訪問団には1年生の時からとても興味がありました。しかし、言葉も文化も違う土地で、知らない人の家庭にホームステイをして約1ヵ月もの間生活をするというのは、自分にとって未知なことだらけで、とても勇気がいることでした。

しかし、帰国してからハワイでの生活を振り返ってみると、日本を出る前に想像していたのとは比べ物にならないくらい刺激的で素晴らしい経験をたくさんすることができ、それによって自分自身が成長できたということがよくわかりました。

ハワイにいるときに私が1番印象に残ったことは、ハワイの人々の人柄の良さです。ホストファミリーは私たちにとても親切にしてくれて、毎日おいしいご飯を食べさせてくれるだけでなく、ハワイのことを知るために様々なところに連れて行ってくれました。また、会話をするときも、私たちがしゃべるつたない英語にも一生懸命耳を傾けてくれたり、私たちに聞きとりやすいようにゆっくりはっきりと発音をしてくれたりしました。そのため私は積極的にホストファミリーと会話をすることができました。

また、外で出会った見知らぬ人たちも、道を尋ねた時などにとっても親切に案内してくれました。こっちが声をかける前に向こうから「道に迷っているのですか？」と声をかけてくれたことにはとても感動しました。他にも、道を渡ろうとした時に必ず車が止まってくれることや、細かいところでたくさんの優しさを感じることができました。ハワイの人にとっては当たり前のことかもしれないけど、日本人は意外とできていない人が多いと思ったので、私も日本に帰ってから見習おうと思いました。

ハワイ大学の授業は、ただ座って英語を学ぶのではなく、ゲーム形式だったり学生と交流する形式だったり、生きた英語を学べるもので、とても刺激的でした。毎日学校に行くのがこんなに楽しいのは久しぶりだと思えたくらい、私はハワイ大学での授業が好きでした。クラスメイトも担任の先生もみんな仲が良く、和気あいあいとした空気で勉強することができました。授業外では、この研修訪問団のメンバー全員でどこかに遊びに行くということも多々あり、遊びと勉強を両立して楽しむことができたので良かったです。

このような経験から私はハワイのことが大好きになりました。ホストファミリーは私のもう1つの家族になり、ハワイはわたしのもう1つのふるさとのような感覚です。いつかもう1度ハワイを訪れて、今回の研修での思い出の地を巡り、ホストファミリーとも再会したいと思っています。本当に自分にとって価値のある経験でした。

環境人間学部 女子

ALOHA!

私は以前からハワイ大学語学研修に興味を持っていましたが、コミュニケーションがとれるのだろうか、自分の英語が通じるのだろうかと心配で、また初めての海外ということもあり、去年は申し込む勇気が出ませんでした。しかし今回を逃すともう行く機会がないと思い、参加しました。

ハワイに着いてみると、やはり聞くのと見るのとでは大違いで、さすが外国、ハワイだ!と感動しました。最初の1週間はめったにないという嵐で天気がとても悪かったのですが、逆に貴重な体験ができたと思っています。

ハワイ大学での毎日3時間の英語の授業は、クラスメートと一緒に楽しんで受けることができました。授業がからだだったので、平日に遠くに出かけることが出来なかったのが残念でしたが、ビーチでピクニックやハナウマ湾など、休みの日には20人でたくさん場所に行くことが出来ました。ダイビングでホヌ(ウミガメ)に会えたこと、天国の海の美しさに感動したこと、ハワイ大学の哲学の授業を受講したこと、バスで降り損ねてしまい泣きそうになりながら帰った時ホストファミリーに優しくしてもらったこと、ホストファミリーにプレゼントを渡して”Very Cute”と言ってもらえたこと、すべてがいい思い出です。

今回、この研修に参加してたくさんのことを学びました。日本とハワイの文化・習慣の違い、自分の気持ちはちゃんとと言わないと伝わらない、人に感謝する…e. t. c. 自分がどれだけたくさんの人に支えられているのか、普段感じていなかったことに気づくことが出来ました。本当によい経験が出来たと思います。絶対またハワイへ行きます!あの時、勇気を出して申し込んで本当によかったです。

最後になりましたが、豊田先生、ブレスナハン先生、エミリー、マーラ、19人のみんな、ホストファミリーの方々、その他お世話になった皆さん、快く送り出してくれた家族、本当にありがとうございました。この経験を生かして日本に帰っても過ごしていきたいと思っています。

MAHALO!

環境人間学部 女子

私は今回初めて研修訪問に参加したが、得たものがたくさんあった。だから、来年にも同じハワイに限らず、どこか海外に行く研修に参加したいと思った。私は今までに何度もハワイを訪れたことがあったので、印象としては「日本人の多い観光地」というものだった。しかし、実際に研修で訪れてみると観光地という事実以外に、留学生の多さに驚いた。

この研修では、私は一回生で参加したので、ほとんどの人が先輩だった。そのことは私の中で大きな心配のひとつだった。また、ホームステイを共にするペアを決める際にも、たくさんの不安があった。しかし、参加者みんなとても親切で、時には頼りになる先輩、時には同じ学年かのように接してくれたので、とても楽しく過ごすことができた。こうして、自分と違う学部の人や異なる学年の人と接した事で、上下関係についても身につけることができた。そして、関西国際空港でも空港の審査や書類についてお互いに確認したり、助け合ったりできた。仁川空港での乗り継ぎでは、たくさんの時間があったので、非常に疲れた。この疲れは現地での体調に大きくひびいた。よって、出来れば直行便でハワイに行けるようにしておいた方がよいのでは、と思った。

ハワイに着くと、大雨だった。この天気が約一週間続いたので、「ハワイは常夏で、晴れている」という印象が大きく変わった。ホームステイでは、今まで一度も他人と生活したことがなかったので、緊張したが、ホストファミリーが優しく英語で会話してくれたことで、その緊張も途中からなくなり、毎日「今日何があったか」についてお互い話したり、海外ドラマを字幕なしで一緒にみて本当の家族のように毎日を過ごしたりすることができ、とても新鮮だった。それと同時に、英語はもちろん、食文化などのサブカルチャーも学ぶことができた。また、私のホームステイ先には、スイス人の留学生もいた。だから、毎日楽しみながら自然と実践英語が身についたかと思う。

また、ハワイ大学では、初日のクラス分けにより10人編成のクラスで授業を受けた。この少人数クラスはとても発言しやすい雰囲気でも10人全員が一回は必ず発言していたと思う。そして、自分の意見を持つことの大切さや進んで発言することの容易さを再実感させられた。また、授業内容は、なるべく教材を使用しないようにしているようで、ほとんど黒板を使用してゲームのような楽しい授業だった。だから毎日授業が楽しみだった。こうした私を担当してくれている先生の授業以外にも、ハワイ大学の学生と交流する授業があった。わたしはこの授業が一番好きだった。現地のおすすめの場所について話したり、とても楽しかった。

この研修の良さを上手くこのレポートで書ききれないが、もっと英語を頑張っって勉強しようと思えた。とにかく私にとって意義のある経験となった。

環境人間学部 女子

私が第3回ハワイ大学研修訪問団に参加した理由は、大きく三点ありました。まず一点目の理由は、英語力を身につけたかったからでした。大学二年になり、受講している授業は専門的な内容のものばかりになりました。一年次には受講していた英語の授業も、今年は受けられていませんでした。ヒアリングやスピーキングの能力の低下はもちろん、文法や単語といった知識ですら、どんどんと忘れていっていることを感じていました。日本に住んでいて、英語を話す機会はそのようありません。英語を話せるようにとまではいなくても、英語を話すことへの抵抗感を失くしたいと思って、参加を決意しました。ハワイに行き、この目的は一週間もしないうちに果たすことができました。また、英語を学問としてではなく「言語」として捉えることができるようになりました。私たちは普段日本語を話していますが、決して完璧に話せているわけではないと気づきました。そして、英語も同じなのだと思います。論じるまでもなく、間違いなく完璧に話せるに越したことはありません。しかし、間違えることを恐れて、何も話さなければいつまで経っても上達しないはずで、このことに気づくことができたのは、私にとって大きな利益になりました。

次に二点目の理由は、留学という形で海外に行くにはこれが最後の機会になるのではないかと考えたからでした。今まで外国へ行ったことのなかった私にとって、何もかもが新鮮で、刺激的な毎日を経験することができました。ハワイの人々はみんな親切で、私が道に迷ったときやバス停が分からなかったときなどに、とても優しく教えてくれました。ホストファミリーも、私たちが分かりやすいように簡単な英語でゆっくりと話してくれたり、私たちの言いたいことを理解しようと努めてくれたりしました。ハワイに滞在している間ずっと、私はハワイの人々に助けられながら生活していました。

最後に三点目の理由として、消極的でネガティブな自分を変えたいという思いが強くあったことが挙げられます。ハワイに行くまでは、そう簡単に自分を変えることはできないと痛感していました。しかし、日本語の通じない環境では自ら行動しなければならないことが多くありました。また、ハワイの人々はもちろん、このプログラムに参加していた学生もみんな親切で、私の拙い英語に真剣に耳を傾けてくれました。グラデュエーション・ランチオンでは、学生代表の一人としてスピーチにも取り組みました。彼らのおかげで、私は積極的に行動することができました。今、日本に帰ってきて普段の生活に戻ろうとしています。しかし、ハワイに行くまでと全く同じものにはしたくありません。慣れ親しんだこの環境においても、ハワイにいたときの積極的な自分で在り続けられるように努力したいです。そして、私が変わるきっかけを与えてくれた先生方、友人たち、ハワイの人々、ハワイという環境、このプログラムに関わっていた全ての人ともものに感謝します。

環境人間学部 女子

まず、最初に述べたいことは、ハワイの環境を約3週間で存分に感じられることができて本当に良かったということだ。ハワイの景色や人々の空気感は、日本では今まで感じられることのできないものが多くあった。身近にビーチ、山、自然や観光すべき素敵な場所がたくさんあり、人々もとても親切でフレンドリーな方達ばかりだった。これらを感じることができて、貴重な体験になったと思う。

ホームステイ先のホストファミリーの方たちも多くの興味深い話や英語の単語の意味や発音などの教育をしてくださり、たくさんの知識を得られた。また、ハワイは南国の樂園のようなイメージを多くの海外の人々は持っているが、ホームレスの人々が存在すること、盗難が毎日起こっていること、危険な車の運転により事故が多いこと、などのハワイの多面性も教わった。私は運よく大きな事件に巻き込まれる事はなかったが、街中やお店の中で外国人に署名と募金をさせられることが3度ほどあった。本当に募金が目的なのかが定かでなかったので、少量の金額しか渡さなかったが、あれはしっかりと募金運動なのかが気になった。次回参加される生徒の方には注意をしていただきたいと思う。

昼からの授業で満身に観光をしたり、毎日のサイクルがうまくいくか心配だったが、ハワイ研修にあたってこの点はあまり気にならなかった。なぜなら、朝に洗濯をしたり、観光をしたり、当日の大学の課題の残りを当日の午前にするのができたからである。もし、午前からの授業であれば、放課後に観光へ行き、帰りが遅くなった場合、十分に課題をすることができない恐れがあるかもしれないが、午後からであれば午前に課題をする時間を設けることができる。実際、午前にUHの生徒にインタビューをする課題が出たので、うまくこのプログラムを活用すれば、十分無駄なく時間を使うことができると思う。また、授業内容も実践的で、習った言葉や表現を研修期間に使うことができた。

私は、ほとんど毎日観光に行き、行くべき名所はほとんど行くことができたので、全く自分の時間の使い方に関して後悔していないので、かなり満足している。大学に行き、まっすぐ帰ってくる日は一度しかなく、ルームメイトに関係なく同じ場所に訪れたいと考えている人とその場所に行き、もしその場所がとても有名で遠い場合は、ほぼ全員に声をかけ、集団で行動していたので安心して観光することができた。

最後に、この研修訪問団に参加したことによって、より、アメリカなどの海外について知りたいと思うようになり、英語を勉強したいと思うようになったので、心からこの活動に参加することができてよかったと思う。

環境人間学部 男子

私はこのハワイ大学研修訪問団が初めての海外訪問でした。慣れない環境で一ヶ月生活しなくてはならないということもあり、最初はとても不安でした。しかし、ハワイでの生活は想像していたよりもはるかに快適で、すぐに慣れることができました。私は今回のハワイ訪問で学んだことが大きくわけて2つあります。

まず、1つめは英語を使ったコミュニケーションです。日本にいるとき、私には外国人の友達はおらず、日常的に英語を使うことは全くありませんでした。当たり前と言えば当たり前なのですが、大学の授業も日本語で行われるので、英語を聞く機会などほとんどありませんでした。しかし、ハワイ大学では授業は英語で行われ、また現地の友達とコミュニケーションを取る時は英語を使わなくてはなりません。最初は慣れない英語でコミュニケーションを取るとはとても難しく、相手の人が何を言っているのかもなかなか聞き取れませんでした。しかし、毎日英語を使っているうちに相手の人が何を言っているのかスムーズに聞き取れるようになり、英語を使ってコミュニケーションを取ることがとても楽しくなりました。

2つめは文化（環境）の違いです。私は今まで海外に行ったことがなかったので、海外の文化に触れたことがありませんでした。日本の中だけで考えても土地によって異なる文化があり、自分にとっては当たり前のことが他の人にとっては異文化であるということがしばしばあります。私は、海外の文化とはどのようなものなのかとても興味があり、今回のハワイ訪問で一番学びたいと思っていたことでもあります。まず、ハワイに着いて最初に驚いたことは服装の違いです。ハワイの気候が温暖であるということが関係していると思うのですが、現地の人とはとても薄着でした。水着のような格好で歩いている人も多く、日本ではありえない光景だと思いました。また、タトゥーをしている人が多いことにも驚きました。また食文化の違いにも驚きました。日本の料理と比べて、ハワイの料理はこってりしていて、味付けも異なっていました。大きさもとても大きくて食べきれないことがよくありました。しかし、食べきれないぶんはお持ち帰りすることが当然で、残したものは捨てるというイメージを持っていたので意外だなと思いました。

私は今回のハワイ大学研修訪問団で様々なことを学びました。一ヶ月という短い期間でしたが、毎日が特別で、とても内容濃い一ヶ月となりました。現在は現地ですぐにできた友達と毎日連絡を取り合っており、日常的に英語を使ってコミュニケーションをとることに努めています。日本に帰国してから海外のアーティストが出演している音楽祭に行ったのですが、そのアーティストが英語で話しているとき、何を言っているのか聞き取ることができたので、とても嬉しかったです。もっと英語を勉強してたくさんの人とコミュニケーションをとれるようになりたいと思います。

環境人間学部 女子

私が今回、ハワイ大学研究訪問団に参加した理由は、異文化に触れてもっと自分の考えを広く、深くしたいと考えたからです。大学に入学し、様々は地域の人と会話していくうちに、今までの自分の周りの環境で当たり前だった文化、習慣、言葉が、他地域では、全く違うのだと驚きました。私は、気付かない内に、閉鎖的な空間で過ごしてきたのだと感じ、もっと、いろいろな人と話をしてもっといろいろな文化に触れていきたいと考えました。

今回、ハワイ大学研修訪問団に参加させていただき、たくさんのことを学ぶことができました。特に驚いたのは、食文化です。料理の量の多さには、毎回驚かされました。また、日本でよく使われている食材、キャベツや白菜などはあまり目にすることがなかったように感じました。他には、飲み物も炭酸飲料が多いこと、カップの大きさが日本の倍あったこと、なども驚きでした。

私が、ハワイですごくよい習慣だと感じたことは、バスの中の譲り合いです。高齢者の方や、身体障害者の方が乗ってきた時に、すぐに席を譲っているという光景を何度も目にしました。私も日本で何度か譲った経験がありますが、とても緊張してしまったのを覚えています。また、バスの中で隣同士になったときに、コミュニケーションをとっているのもよい習慣だと思いました。観光地なので、様々な国の人がハワイに集まっていて、その人達の多くがバスを利用するので、バスの中がコミュニケーションの場となっていてすごいと感じました。日本は、今、コミュニケーションが不足していると私は考えます。意図的にコミュニケーションの場を作らなければ、他人との交流がなくなっていく、それがきっかけとなり、様々な問題が起きていると感じています。

今回、短い間ですが、海外で生活させていただいて、日本のコミュニケーションの低下を感じました。日常の中のコミュニケーションの場をもっと活用させて閉鎖的にならずに、自分からもっと積極的に様々な人と会話していくことが、自分の考えを広く、深くさせていくためには必要だと、強く感じました。

また、今回ホームステイという、少しでもハワイの日常生活を感じることができ、食事、お風呂、トイレなど気候など、様々な日本との違いを感じることができました。また、ハワイ大学で学ぶことができ、ハワイ大学の学生ともたくさん交流ができました。また、Dr. Jの授業に参加させていただいて、生徒が自ら積極的に授業に参加していて、とても充実した授業だと感じました。

ハワイで経験させていただいたことを今後の日本での生活にもっといかしていきたいと感じました。

環境人間学部 女子